【山崎名誉主宰の俳句】

ともかくも

山崎　聰

もうすこし生きていようよ秋の虫

ともかくもきょうの仕事を秋の長雨

夜明けにて鵲遠く鳴くを聞く

東京は名残の空の明るさに

一抹の不安東京に雪が降り

どこをどう曲がっても同じ冬の夜

東京さびし越後は雪の日曜日

鬼が住む満開さくらの山のむこう

信州も東京もさくら吹雪の中

もうすこしたったら云おう花のこと